



荻川小だより

〒956-0011 新潟市秋葉区車場922-1
TEL : 0250-25-2171 FAX : 0250-25-2172
<http://www.ogikawa.city-niigata.ed.jp/>

令和4年2月17日発行 No 10



子どもの『主体性』を育む

校長 出頭 久美子

立春が過ぎ、暦の上では春となりました。第6波の最中でも、子どもたちは、やると決めたことにめあてをもって取り組んでいます。そのひたむきな姿は、周りを元気にしてくれます。この時期、子どもたちは様々な活動や学習を通して、自分や学級の成長や学びを振り返り、自覚し自信につなげています。そして、相手を思い、感謝の気持ちをもって行動しようとしています。

次年度の自分をイメージして、次への希望や意欲につなげる大切な時間を生きているといえます。

グローバル化の進展や技術進歩の加速によって、社会や経済、環境等様々な分野において多様な変化がもたらされています。急速な情報化や技術革新は私たちの生活を質的にも変化させつつあります。「2030 問題」という言葉を報道等で目にすることも多くなりました。一方で、この変化は、人類の進歩のために多くの新しいチャンスを生み出しています。新学習指導要領には、2030 年に向けた教育の概念「エデュケーション 2030」の要素が多く盛り込まれています。

これからの時代を生き抜く子どもたちには、「自分で考えて、判断し、責任をもって行動できる能力や態度」つまり『主体性』がより一層必要です。

「社会を理解し、自分がやるべきことに気付き、世界に影響を与える」という意味で「前向きで責任ある行動をとることができ、積極的に社会参画できる市民」になっていくために、社会で家庭で学校で、学んでいるのです。

例えば、「〇〇しなさい」ではなく、「あなたはどうしたいの」「助けてほしいことはある？」といった対話を通して、子ども自身が考え判断し行動する機会を大人がつくり、価値付けていくことが大切です。その積み重ねが、子どもの心エネルギー（自信）を貯め、『主体性』を育むことにつながっていきます。子どもの成長の機会を大人が奪うことのないように、これからの時代、大人も一緒に成長していきましょう。